

BPT (バイオマスプロジェクトチーム) だより No.8



http://www.pref.chiba.jp/syozoku/e_ichihai/biotop.htm

平成 17 年 6 月 16 日 (木)
バイオマスプロジェクトチーム
(環境生活部資源循環推進課)

1. 事業の進捗状況 等

○ 木質バイオマス利活用実用化促進事業

香取農林振興センターを中心として、多古町の農家を対象に、堆肥生産に木炭を利用する実証試験が行われています。炭化試験施設で生産されたサンブスギの木炭を使い、今後 1 年間かけ、小松菜を対象に炭入り施用区と炭無し施用区で生育比較を行います。

手前が炭入り施用区



今後のニーズ増が見込まれている電磁波ノイズのシールド素材への用途開発として、木炭(微粉炭)を混合した塗装サンプル(県内企業の試作品)を使った電磁波吸収性やシールド特性の評価試験が、6月10日(金)に県産業支援技術研究所で行われました。

その他、県産業振興センター東葛テクノプラザの協力を受けて、県内中小企業による環境資材や工業原料への新用途開発の取組みも進められています。

○ 山田町での農林水産バイオリサイクル実証研究



メタン自動車のデザインが仕上がりました。メタン自動車はプラントで精製されたメタンを燃料とし、町の中の農林業未利用草木類や森林・製材残さ類のバイオマス資源を回収します。

回収されたバイオマス資源は、プラント群において土壌改良材や工業原料などへと再資源化が図られていく予定です。

プラント群については、周辺の敷地整備等が進んでいます。

プラント施設平成 17 年 5 月 28 日撮影



2. 普及啓発活動・その他

○ バイオマス政策最新動向講演会での講演の実施

NPO法人資源リサイクルシステムセンターの要請により、6月2日(木)大阪府において、関西地区の地方自治体や民間企業を対象に千葉県のバイオマス利活用状況について講演をおこないました。

農林水産省からバイオマスタウン構想と環づくり交付金について講演が行われた後、地方自治体のバイオマス利活用事例として千葉県からの発表を行いました。

バイオマス立県ちば推進方針策定の経緯や千葉県のバイオマス利活用推進体制、県内でのバイオマス利活用事例についての説明及び参加者との質疑応答により、千葉県のPRを行うとともにバイオマス利活用についての情報交換を行いました。



○ バイオマス・ニッポン総合戦略アドバイザーグループ第6回会合

バイオマス・ニッポン総合戦略推進アドバイザーグループ第6回会合が5月23日(月)に実施されました。愛知万博会場内でも使用されている「バイオマスプラスチック」について、認知度等について報告がありました。「バイオマスプラスチック」の認知度について全国の12歳以上の男女を対象にインターネット調査したところ、概ね昨年と同様の認知度であるという結果が出ています。

会合ではこの他に各省庁、各委員からの報告とともに自由討論が行われ、バイオマス利活用推進と廃棄物処理法等の法規制の関係、国外のバイオマス資源、海洋バイオマスの利活用促進等について各委員から意見が出されました。

○ 県環境研究センター主催「木質細片を用いる有機性廃棄物処理検討会」への参加

6月8日(水)県環境研究センターで実施された「木質細片を用いる有機性廃棄物処理検討会」に参加しました。

センターでは小型モデル装置を使った有機性廃棄物処理試験を実施しており、実験内容の経過報告と今後の試験内容について報告が行われました。今後も引き続いての検討会の開催が予定されています。



小型モデル装置